



# 先進技術研究所

ADVANCED TECHNOLOGY RESEARCH CENTER



主観的な「運転しやすさ」を客観的に数値化して評価する手法の確立と標準化を図る

バイオマス資源の活用による地球温暖化抑制

8K高精細画像を非圧縮・低遅延で処理できるクラウド型リアルタイム編集サービスの実現を目指す

神奈川工科大学(KAIT)先進技術研究所は、研究成果の実用化・製品化を促進し、社会課題の解決を目指しています。





## MESSAGE

メッセージ



神奈川工科大学 先進技術研究所 所長 一色 正男

先進技術研究所は神奈川工科大学(KAIT)創立50周年記念事業として、2013年に立ち上げられました。当研究所の目的は、KAITの研究成果を実用化し、企業と共同で製品化することで、社会に大きく貢献することです。多岐にわたる学術研究の中から、製品化が見込まれる有望な研究を採択し、製品化に向けた様々なサポートを行っています。

## 研究成果の実用化・製品化を促進し、 社会課題の解決を目指す

KAITでは、機械系、電気系、化学・バイオ系から情報系、生命・健康系までと、幅広い分野の研究を行っています。中でも特に「情報」「健康・生命」「環境・エネルギー」の3分野に重点を置き、社会課題の解決に向けた実践的な研究を推進しています。

先進技術研究所では、この3分野を中心に、3年ごとに研究テーマを採択して実用化・製品化に向けたサポートを行っています。

設立10年の節目を迎える2023年度からは、「大学内コミュニティの形成」や「地域との連携強化」の場としての役割も担っていきます。



### 第四期テーマ(2023年度～)

- エッジコンピューティングを用いた大容量通信処理プラットフォームの実用化
- 地球温暖化抑制のための非可食性バイオマス資源からのバイオPETの生産の社会実装
- 車両操舵特性評価手法の高精度化および一般化(通称:  $\tau_L$  評価オープン・イノベーション)

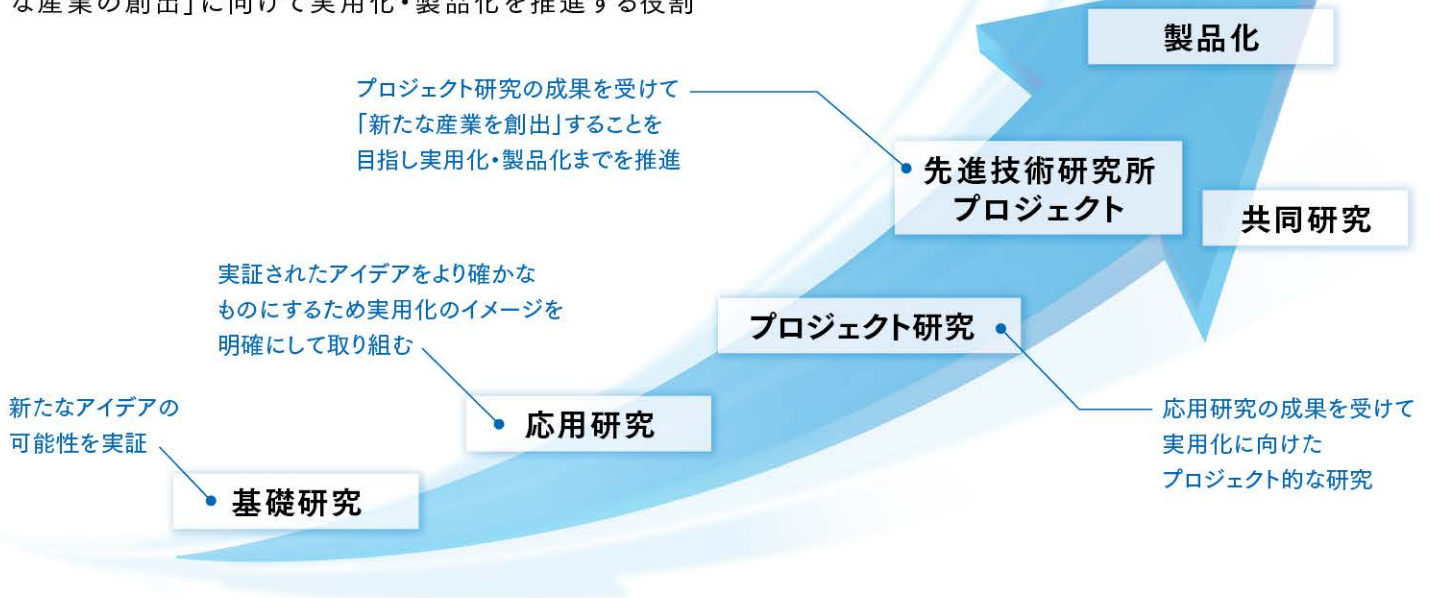


## 先進技術研究所の位置付け

KAITでは「新分野への挑戦(Challenge)」「新たなアイデアによる変化(Change)」「新たな産業の創出(Creation)」の3Cを研究ポリシーとしています。ポリシー達成のため、「基礎研究」「応用研究」「プロジェクト研究」と段階ごとにカテゴリーを分けて効率的に研究を推進しています。

先進技術研究所は、プロジェクト研究の成果を受け、「新たな産業の創出」に向けて実用化・製品化を推進する役割

を担っています。そのため、社会に求められており、実用化を望む企業が想定される研究テーマを採択し、研究支援はもちろん、企業へのPRやマーケティング支援、ビジネスモデルの構築支援まで幅広くサポートしています。



## 先進技術研究所の活動

01 >>>

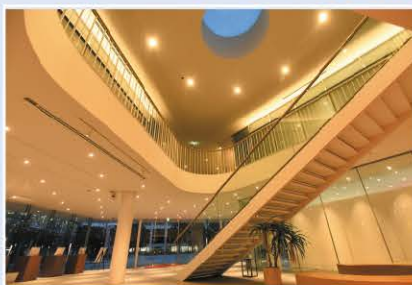
### 研究成果の実用化・製品化



「新たな産業の創出」に向けて、KAITの研究成果の実用化・製品化を促進し、社会に大きく貢献することを目指します。

02 >>>

### 大学内コミュニティの形成



教員や学生が気軽に集い、活発に意見を交わす共創の場となることを目指します。

03 >>>

### 地域との連携強化



KAITがある厚木市や、その周辺地域の企業や大学と連携できる、地域のハブとなることを目指します。



〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030  
URL:[www.kait.jp/](http://www.kait.jp/)

研究推進機構

E-mail:[liaison@kait.jp](mailto:liaison@kait.jp)

TEL:046-291-3109 FAX:046-291-3221